



夢かなえ新たな目標へ歩き出す

佐々木 健 さん

PROFILE

ささき けん(中町・18)
小笠高校3年。投手。右投げ右打ち。
189cmの長身から投げ下ろすストレートが武器。

広島東洋カープへ入団

10月26日に開かれたプロ野球ドラフト会議、育成ドラフト3巡目。「広島東洋佐々木健 投手 小笠高校」と読み上げられ、広島東洋カープに佐々木さんが指名された。育成ドラフトとは、まだプロ選手の手力はないが、将来性豊かで素質があると見込まれた選手と契約するもの。まずは2

軍の試合などで経験を積み、1軍の公式戦に出場可能な「支配下登録」を目指す。佐々木さんは「指名されたばかりは全然実感がなく、1週間くらいして実感が湧いた。いよいよプロだと思うと、練習にもさらに身が入る。これからは、1日でも早い支配下登録を目指し、いずれは1軍入りも果たしたい」と話す。

努力し続けた3年間

7月の全国高等学校野球選手権静岡大会を終え、引退となった現在でも、佐々木さんは野球部の練習に必ず参加している。また、欠かしていないのが、下半身強化に重要な走り込み。投手である佐々木さんは高校入学を機に、自己

の課題であった制球力の克服を目指し、要となる下半身を鍛えてきた。「制球力、球速共に1年の頃とは比べられない球が投げられるようになった。今の球速はベストで143キロ。プロでも通用するようにさらに速くしたい。目標は150キロ」と力強く語った。

仲間とともに成長

高校入学以来、苦楽を共にした仲間と挑んだ夏の大会。初戦を勝利した時は喜びもひとしおだった。「野球は一人じゃできない。必ず仲間がいて、うれしさや悔しさを分かち合える。思いをみんなで共有し、一緒に成長していけるところが野球の面白さ」と笑顔を見せた。夏の大会では、3回戦負けで悔しい思いをした。この悔しさをバネに佐々木さんは、より集中して練習に取り組む。「プロになれば今まで以上に大変なことも多くなると思う。それを乗り越え、みんなに応援してもらええる選手になりたい」と意気込む。佐々木さんがさらなる成長を遂げ、1軍の試合で活躍する姿を見るのが楽しみだ。